平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　28　日

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課 地域医療室	所属長名	蜂谷　京子	電話	483-1151 内線2212

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	短縮コード	経常	4113	臨時	3185

予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費

区分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	八千代市補助金等交付規則 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター整備事業補助金交付要綱 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター救急医療事業等補助金交付要綱

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

夜間や休日における急病患者に対する診療を市内医療機関が輪番で行う。また，東京女子医科大学八千代医療センターは，八千代市の地域医療を支援する中核病院として，市の医療提供体制の向上を図るとともに，地域の医療機関と連携して急性期医療をはじめとする高度医療を担う。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

平成18年12月8日に東京女子医科大学八千代医療センターが開院し，本市の医療体制の充実が図られた。また、内科･外科の休日在宅当番医制度に加え，19年度から歯科についても在宅当番医制度を実施している。平成24年3月に増床配分され，さらに医療体制の充実が図られることが期待される。

総合計画の施策体系

６本の柱（章）	01	第１章健康福祉都市をめざして
大項目（節）	01	第１節保健・医療
中項目	02	2．医療
小項目	01	(1)地域医療体制の充実
	02	(2)救急医療体制の充実
細項目	01	①地域医療体制の充実
	01	①休日・夜間診療体制の充実
実施計画の計画事業	1003	医療センター整備事業
	1004	看護師等確保対策事業

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

2．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	救急診療を必要とする市民
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ○医師会（歯科医師会含む）との夜間救急待機医･休日当番医の業務委託契約の締結と毎月の実績に応じた委託料の支払い。また、対象者に対しては、テレフォン案内及びホームページで当番医等を周知する。 ○八千代医療センターの整備費及び救急医療事業等への補助金の交付。 ○救急医療等に関する相談及び意見への対応。 ○地域医療連携についての周知。 ※平成24年度に計画していること： 看護師等の養成施設に在学している方で，将来八千代市内の医療機関等で看護師等の業務に従事する意思のある方を対象に，無利子で修学に必要な資金を貸し付ける八千代市看護師等修学資金貸付制度の開始。
意図（何を狙っているのか）	市民が休日･夜間などの緊急時に適切な医療を受けられるようにする。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	市民	人	193,274	196,400	192,884	199,500
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	診療日数（年３６５日＋休日日数７１日）	日	436	436	436	436
	指標２						
	指標３						
成果指標	指標１	受診者数	人	30,317	30,317	29,412	29,412
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	所属名	健康福祉課 地域医療室

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	729,872	724,382	912,920	533,943
		その他	千円	0	0	0	0
	主な事業費の内訳			補助金475,000,000 委託料47,501,475	補助金475,000,000 委託料46,642,680	補助金475,000,000 委託料46,926,705	補助金475,000,000 委託料47,091,240
人件費(B)			千円	17,887	17,581.2	18,072.3	18,072.3
トータルコスト(A)＋(B)			千円	747,759	741,963.2	930,992.3	552,015.3

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	医療センターは，地域医療を支援する中核病院として，２４時間３６５日，急性期医療を担い，地域医療機関と連携することで市民へ質の高い医療を提供している。 夜間急病待機医･休日当番医制度は，市内の各医療機関が休日･夜間における救急医療の初期救急から二次救急を担い，また医療センターが三次に準ずる救急も担うことで，本市の救急医療体制が構築されている。 小児の救急医療は，医療センターの開院に伴い，同センター内に八千代市医師会などの協力のもと「やちよ夜間小児急病センター」が設置されたことにより，一か所で軽症から重症まで対応できることとなり，市民の利便性だけでなく，安心・安全に大きく寄与している。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	今後も市民の地域医療に対する様々なニーズに対応し，安心・安全な医療を提供する必要があるため。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	市の施策として，市民が休日・夜間などの緊急時に適切な医療を受けられるよう実施するため。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	当該事業は，市民の緊急時に適切な医療が提供されるようにするためのものであり，対象などの見直しは馴染まない。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☑ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☐ 可能性がない	
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☑ 上記以外の方法	増床計画に伴い医療提供体制の向上の可能性がもてるため。看護師等修学資金貸付事業の開始により看護師等の確保が得られる。 類似事務事業名称 1： 実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2： 実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☑ ある ☐ ない	経費の増。看護師等修学資金貸付事業においては，修学している人に貸し付けるため，直ぐに効果は表れない。

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業	所属名	健康福祉課 地域医療室

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☑ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☑ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

本市の医療体制は，市内の各医療機関がそれぞれの役割に応じて連携することで，効率的で質の高い医療提供できる体制を構築しているため，今後も市民が安心・安全な医療を受けられるよう維持していくことが必要である。また，看護師等修学資金貸付制度の開始とともにさらなる医療体制の提供が図られる。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☐	☑
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

看護師等修学資金貸付制度が開始されるため，コストが増加するが，現在の医療体制を維持し，市民へ効率的で質の高い医療が提供されるよう支援する。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

現在の市財政状況から東京女子医科大学八千代医療センターに対する助成内容の見直しを求める意見があるが，一方では，現在構築されている医療体制の更なる充実を望む意見もある。また，補助金支払いに伴う事業効果を市民に承知する手法を求められている。

所属長コメント

本市の地域医療は東京女子医科大学八千代医療センターを中心にして，地域医療機関と連携することにより，安定した医療体制が整備されており，市民が安心して適切な診療を受けるためには，安定した医療体制を継続していくことが大切である。また，看護師等の確保対策として平成24年度から看護師等修学資金貸付制度が始まり，質の高い医療と安心した医療体制を市民に還元できるものと考える。

評価調整委員会評価

- ☑ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☑ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☐ 現状のまま継続

東京女子医科大学八千代医療センター等の増床計画に伴い，今後の地域医療体制の拡充整備及び看護師等医療スタッフの確保対策を推進すること。